

コロナ感染急拡大に 都議団が 緊急申し入れ

オミクロン株による新型コロナウイルス感染症が急速にひろがっています。

日本共産党都議団は1月7日、小池都知事に対して、第五波までの反省を生かした対策の強化をもとめて緊急の申し入れを行いました。

申し入れは感染の急拡大に対応した医療や宿泊療養の体制を抜本的に強化することや、感染拡大を抑えるための検査体制の大幅な充実、新たな経口薬も含めた治療を有効に行うための検査・診断・治療の仕組みづくりを行うこと

など14項目に及んでいます。

特にPCR等検査無料化事業はもつと実施ケ所を増やし、1月31日までの期間を延長して、これまで実施した検査数や陽性者数も公表すべきだ、と強調しています。

また、今回の感染状況の特徴から米軍に対し横田基地からの外出禁止、米本国からの入国中止を求め、基地内の感染状況の報告をもとめるべきだ、と迫っています。



予算要望書を提出

和泉都議が重点項目を
知事に説明



予算要望書を手渡す和泉都議と共産党都議団

日本共産党都議団は12月23日、東京都の来年度予算に対して予算要望書を提出しました。

予算要望書は都議団が80以上のもの都民団体との懇談をふまえて、そこで寄せられた切実な声をもとに作成したもので、要望項目は2,390項目におよびました。

和泉なおみ幹事長はそのうちの重点項目を小池知事に説明し、「臨海地域の『東京ベイ戦略』をはじめとする大型開発など不要不急の事業を見直して、住民福祉の増進という地方自治体本来の使命を果たすために全力をつくしてほしい」と強調しました。

これに対して小池知事は「要望書は、しっかりと読ませてもらいます」と応じました。

都立病院の 独法化許すな

新年から緊迫した情勢

12月10日、都立・公社病院の独立行政法人化反対の都民集会が都庁前で行われ、和泉都議もかけつけました。

新年は都立病院がひきつづき、都の直営の病院として存続できるかどうか、重要なヤマ場を迎えて緊張する状態が続いています。

第一回定例都議会は2月16日に開会しますが、ここに都立病院の廃止条例が提出される可能性が高いからです。

独法化反対の都民運動の強化がもたらわれています。



和泉なおみ
ホームページ



和泉なおみ
和泉事務所

目的のQRコード以外は紙などで
覆い隠すと読み取りやすくなります



日本共産党 都議会議員

和泉なおみの
さわやかレポート

NO.65 2022.1

和泉なおみ事務所 葛飾区東立石 3-25-8

TEL 5671-0850 / FAX 5671-0851